

Ⅲ 報告(共有事) 児童の実態「情報モラル・リテラシー」

学校に一人一台端末が導入されて数年が経ちます。子どもたちは授業の中で、タブレットを文房具の一つとして、思考を整理したりまとめたりするなど有効活用しています。私たちの生活の中で「端末」が当たり前存在する現代。その正しい使い方を指導することが重要視されています。

子どもたちの中には、個人的にスマートフォンを使っている子も多いようで、誤った認識ゆえのトラブルも聞かれます。大きな問題となった闇バイト関連も、情報モラル(リテラシー)の欠落が理由の一つではないでしょうか？ 他人事ではありません。

今年度、情報モラル及びリテラシーに焦点をあて、まずは児童の実態(意識)調査を行いました。9月と2月の結果は下の通りです(表1)。保護者の皆さんとも共有し、共に子どもたちを見守り、指導していきたいと思っています。

表1 R7 鹿西小学校 児童の「情報モラル・リテラシー」アンケート結果

	質問項目	はい回答(人)		分からない回答[2月]
		9月	2月	
低学年	タブレットの不具合は友達になおしてもらおう	10	6	6
	ネットに書いてある情報は全て正しい	6	10	20
	ネットに名前や写真などの個人情報を載せたことがある	6	7	0
	知らない人から連絡がきても返信する	3	0	0
	タブレットを使う際に、周りの人のことを考える	5	3	15
高学年	ネットに書いてある情報は全て正しい	9	4	5
	ネットに名前や写真などの個人情報を載せたことがある	8	7	0
	SNS等のやりとりで、特に何も気を付けていない	11	5	2
	タブレットに不具合があっても誰にも言わない	1	1	0

9月の調査結果を受け、各学級で指導を行いました。一度の指導では正しい知識の獲得は難しいことが今回の調査結果から分かります。「ネット情報は全て正しい」と思っている児童が増えている学年があったり、「分からない」と回答する児童が依然として多かったり(9月調査より減少している)する現状をふまえ、発達段階に応じて継続的・計画的な指導の必要性を実感しています。

☆ご協力をお願いします「家庭でのルールづくり」

長期休業中のテレビやゲーム等の時間に関して、今年度は“家庭ルール”の欄を設けました。家族で話し合ったルールの共有(日々の意識付け)をお願いしております。

今回のアンケートからは、「まだルールを決めていない」と回答児童が33名(9月比-22)、「分からない」が23名(9月比+7)との実態も明らかとなりました。これは全校の3分の1に当たります。家族で話し合ったが忘れているという子もいると思います。ご家庭でも折を見てお声かけくださるようお願いいたします。また、進級を機にルールの見直しも有効であると思います。以下に、家庭のルールの一例を紹介します。

- | | |
|------|--|
| 〔時間〕 | ・平日はゲーム(テレビ)を○時間、休日は○時間以内にする |
| | ・夜9時以降はしない(見ない) ・宿題を終わらせてからゲームをする(テレビを見る) |
| 〔場所〕 | ・ゲームは家族(親)のいる部屋です ・ゲーム機を置く場所を～にする |
| 〔健康〕 | ・30分間して休憩する(目を休める) ・寝ながらしない(見ない) |